



F&A AQUA  
holdings, inc.

# 株式会社F & Aアクアホールディングス (東証一部 8008)

## 第58期(2008年2月期)決算説明会

2008年4月14日



F&A AQUA holdings, inc.

# Contents



## I . 2008年2月期総括と次期の取り組みについて

(株)F&Aアクアホールディングス 代表取締役社長 木村祭氏

## II . 2008年2月期決算概要と次期予測について

(株)F&Aアクアホールディングス 財務部長 西村政彦

## III . 「4°C」新ブランド構想について

(株)エフ・ディ・シー・プロダクツ 取締役ジュエリー商品第二担当 瀧口昭弘

※資料内の数値は百万円未満を切り捨て表示し、百分率は原データから算出しております。

当資料の業績予想に関する記述、及び客観的事実以外の記述に関しましては、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、当社の事業をとりまく経済情勢、市場の動向、為替レートなどに関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご了承ください。



F&A AQUA  
holdings, inc.

# I . 2008年2月期総括と次期の取り組み

# 1. 当期の取り組み



F&A AQUA  
holdings, inc.

## ①FDCCPグループの取り組み

- ・クリスマス商戦を主とした下期の取り組み強化
- ・原価率低減・新商品管理システムの導入等による利益確保
- ・新ジュエリーブランド「diva(ディーバ)」の出店拡大

## ②アスティグループの取り組み

- ・子会社「吉武」と「上田靴下」のMD強化による売上・利益の確保
- ・アパレル・バッグメーカー事業の提案力・生産管理力の強化による利益確保

## ③アージュグループの取り組み

- ・DF(デイリーファッション)事業の新規出店等による売上拡大
- ・不振店対策への取り組みと現場営業力の強化

## 2. 総括・・・F&AアクアHD



F&A AQUA  
holdings, inc.

### ①F & AアクアHD連結: 減収減益 売上高509億円 経常利益25億円

- ・選択と集中(不採算事業・商品の圧縮)の進展による減収
- ・既存事業は利益確保、子会社苦戦で減益

### ②FDCPグループ: 減収増益 売上高232億円 経常利益20億円

- ・ウエア撤退と「4°C」ジュエリーの苦戦(上期の在庫調整)による減収
- ・「RUGIADA」、「CELINE」ブランドの健闘
- ・新システムでの管理力強化、ウエア撤退でのコスト削減による利益の確保

### ③アスティグループ: 減収減益 売上高268億円 経常利益5億円

- ・重複事業の移管による減収と不採算商品からの撤退
- ・子会社「吉武」「上田靴下」の不振による減益

### ④アージュグループ: 増収増益 売上高84億円 経常利益0.6億円

- ・アスティグループからの事業移管及びメイのM&Aによる増収
- ・既存事業の収益構造改善により増益

### 3. 中期経営計画の推進

#### 経営目標



F&A AQUA  
holdings, inc.

#### 高収益企業グループの構築

#### 「利益を伴った拡充」

#### 収益向上のための基本戦略

- ①事業ポートフォリオの再編
- ②収益構造の見直し
- ③売上拡大
- ④経営効率の向上

## 4. 収益向上のための構造改革完了



F&A AQUA  
holdings, inc.

### 事業ポートフォリオの再編

- ・強み事業の強化:「CELINE」ブランド拡大 ○・バッグメーカー事業 △
- ・重複事業の合理化:小売事業再編(アスティ→アージュ) ○

### 収益構造見直し

- ・FDCPの利益体質強化、アスティのビジネスモデルの転換、アージュの損益改善 ○
- ・グループ子会社収益 ×

### 売上拡大

- ・4°Cウエア撤退、アスティ不採算商品の統廃合

### 経営効率の向上

- ・フリーキャッシュフローの改善 ○



F&A AQUA  
holdings, inc.

## 2008年度経営戦略



# 1. 利益の向上



F&A AQUA  
holdings, inc.

## 1.利益成長戦略の推進

- ①ジュエリー事業の強化・拡大
- ②アパレル・バッグメーカー事業の強化
- ③リテール事業の強化・拡大

## 2.経営効率の向上による利益確保

- ①不採算子会社の建て直し
- ②アスティグループの経常利益率向上
- ③アージュグループの収益向上

## 3.ホールディングス機能の強化

- ①コンプライアンス経営の推進
- ②スタッフ機能の充実

## 2. FDCPグループの重点施策



F&A AQUA  
holdings, inc.

### ジュエリー事業の強化・拡大

#### (1) 4°Cジュエリーの再構築

- ・ファーストゾーン再構築、ブライダルゾーンの安定成長

#### (2) ジュエリーポートフォリオの構築

- ・「RUGIADA」、「CELINE」の認知度向上と売上拡大
- ・「4°C」ハイゾーンブランドの立ち上げ
- ・「diva」出店戦略の見直し
- ・「4°C」中国出店の準備

#### (3) 人材の増強(MD、在庫管理、生産管理)

### 3. アスティグループの重点施策



F&A AQUA  
holdings, inc.

#### アパレル・バッグメーカー事業の強化

- (1) OEM機能の確立による利益確保
  - ・海外生産管理体制の再構築
- (2) 主力得意先との取り組み強化
  - ・素材開発・企画提案力の強化
- (3) 不採算子会社の立て直し
  - ・(株)吉武、(株)上田靴下の損益改善  
(人員を派遣し、マネジメントスタッフを強化)

## 4. アージュグループの重点施策



F&A AQUA  
holdings, inc.

### リテール事業の強化・拡大

#### (1) パレットの拡大

- ・商品力、店舗運営力の強化と出店拡大
- ・PB商品「PALLET」の育成

#### (2) SPA型リテール事業の確立

- ・PB商品「LOU」、「DADAISM」の強化による利益率の向上

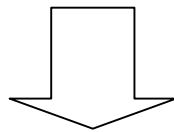
#### (3) アージュグループの収益向上

- ・ルウ、パレット、ラポールの損益改善
- ・(株)メイの収益向上



## 5. 次年度経営環境リスク

- (1) 景気の先行き不透明感(株価下落、資材高騰、物価上昇等)  
→生活防衛に伴う消費マインドの低迷
- (2) 商業施設間競争激化・競合増加→入店客数減  
→厳しい要求、サービス・値引き合戦、差別化戦略投資増
- (3) 資材高騰(プラチナ、金)→値上げ対応
- (4) 為替変動→円高:海外貸付金為替差損、円安:輸入原価の上昇
- (5) 中国の人件費高騰、元高による原価上昇



売上高・取引高減少、利益率低下(原価率上昇)

## 6. 第59期(2009.2期)の数値計画

(百万円、%)	第59期(2009/2)計画		
	第58期実績	第59期計画	前期比・差
営業収益 (不動産賃貸収入含む)	50,991	52,000	2.0
売上高	49,080	50,235	2.4
営業利益	2,031	2,450	20.6
経常利益	2,536	2,800	10.4
当期純利益	266	1,200	350.2

## 7. 株主還元策



F&A AQUA  
holdings, inc.

- ・ 自社株買いの実施

- ・ 配当政策

安定配当を基本に、連結営業利益、当期純利益を勘案し決定  
連結配当性向(25%以上)  
中間配当10円、期末配当10円、年間配当20円予定



F&A AQUA  
holdings, inc.

## I . 2008年2月期決算概要と次期予測について



# 1. 業績の概要(連結)



F&A AQUA  
holdings, inc.

営業収益 509.9億円(前年同期比△5.8%)  
営業利益 20.3億円(前年同期比△10.6%)

(百万円、%)	第57期(2007/2)	第58期(2008/2)	
	実績	実績	前期比・差
営業収益(不動産賃貸収入含む)	54,137	50,991	△5.8
売上高	52,216	49,080	△6.0
売上総利益	22,828	22,675	△0.7
売上総利益率	43.7	46.2	2.5
その他の営業収入	1,921	1,910	△0.6
販売費及び一般管理費	22,478	22,553	0.3
営業利益	2,271	2,031	△10.6
経常利益	2,858	2,536	△11.3
当期純利益	394	266	△32.4

## 2. 販売管理費の状況(連結)



F&A AQUA  
holdings, inc.

### 販売管理費 ほぼ前期並み実績

(百万円、%)	第57期(2007/2)	第58期(2008/2)	
	実績	実績	前期比・差
人件費	7,624	7,795	2.3
借地借家料	7,121	7,027	△1.3
販売広告費	1,342	1,198	△10.8
業務委託費	678	908	33.9
旅費	436	345	△20.8
荷造運賃	1,008	900	△10.8
減価償却費	599	634	5.9
のれん償却額	429	647	50.6
その他	3,238	3,097	△4.4
合計	22,478	22,553	0.3
営業収益販売管理費比率	43.0	46.0	2.9

### 3. 事業会社グループ別損益の概要



F&A AQUA  
holdings, inc.

- ・FDCPグループ 減収増益(ウェア事業撤退、利益率改善等)
- ・アスティグループ 減収減益(不採算商品廃止、子会社不振等)
- ・アージュグループ 増収増益(事業移管、収益構造改善等)

(百万円、%)		第57期(2007/2)	第58期(2008/2)	
		実績	実績	前期比・差
FDCPグループ	売上高	24,232	23,243	△4.1
	営業利益	1,763	1,881	6.7
	経常利益	1,843	2,015	9.4
	当期純利益	276	297	7.7
アスティグループ	営業収益	32,690	26,839	△17.9
	営業利益	455	447	△1.8
	経常利益	783	576	△26.3
	当期純利益	9	△692	△701
アージュグループ	売上高	5,633	8,453	50.0
	営業利益	10	67	518.1
	経常利益	4	67	1461.1
	当期純利益	△55	△200	△145

※グループ間取引相殺前の数値の為、単純合計は一致いたしません。

## 4. 貸借対照表概要



F&A AQUA  
holdings, inc.

### 財務の健全性維持 総資産、借入金、純資産減少

(百万円、%)	第57期(2007/2)	第58期(2008/2)	
	実績	実績	前期比・差
総資産	57,463	53,722	△6.5
流動資産	13,146	11,620	△11.6
固定資産	44,316	42,102	△5.0
借入金	5,193	4,762	△8.3
有利子負債比率(%)	9.0	8.9	△0.2
純資産	39,877	38,056	△4.6
少数株主持分	15	3	△79.7
自己資本比率	69.4	70.8	1.5

## 5. キャッシュフローの概要(連結)



F&A AQUA  
holdings, inc.

### フリーキャッシュフロー 大幅増加

(百万円)	第57期(2007/2)	第58期(2008/2)	
	実績	実績	前期差
営業CF	△12	2,455	2,467
投資CF	△1,453	△974	479
財務CF	1,156	△1,513	△2,669
フリーCF	△1,465	1,481	2,946

## 6. 設備投資・減価償却費の概要(連結)



F&A AQUA  
holdings, inc.

- ・設備投資額 : +236百万円 (前期比+39.7%)  
(主なものは、FDCPの新基幹システム構築費3.7億円)

(百万円、%)	第57期(2007/2)	第58期(2008/2)	
	実績	実績	前期比・差
設備投資額	594	831	39.7
敷金・保証金	269	399	48.2
合計	864	1,231	42.4

(百万円、%)	第57期(2007/2)	第58期(2008/2)	
	実績	実績	前期比・差
減価償却費	599	634	5.9



## 7. 事業会社グループ別次期数値計画

(百万円、%)		第58期(2008/2)	第59期(2009/2)計画	
		実績	計画	前期比・差
FDCPグループ	売上高	23,243	24,299	4.5
	営業利益	1,881	2,206	17.3
	経常利益	2,015	2,249	11.6
	当期純利益	297	985	231.3
アスティグループ	営業収益	26,839	23,435	△12.7
	営業利益	447	678	51.6
	経常利益	576	858	48.8
	当期純利益	△692	484	1,176
アージュグループ	売上高	8,453	10,220	20.9
	営業利益	67	153	127.9
	経常利益	67	136	100.6
	当期純利益	△200	75	275
F&AアクアHD連結合計 ※	営業収益	50,991	52,000	2.0
	営業利益	2,031	2,450	20.6
	経常利益	2,536	2,800	10.4
	当期純利益	266	1,200	350.2

※F&AアクアHD連結合計はグループ間取引相殺後の数値



本日は誠にありがとうございました

【お問い合わせ先】

株式会社F&Aアクア・ホールディングス

業務部 大木(オオキ)・渡部(ワタナベ)

TEL 03-5719-4407

FAX 03-5719-4462

E-mail [ir@fa-aqua.co.jp](mailto:ir@fa-aqua.co.jp)